

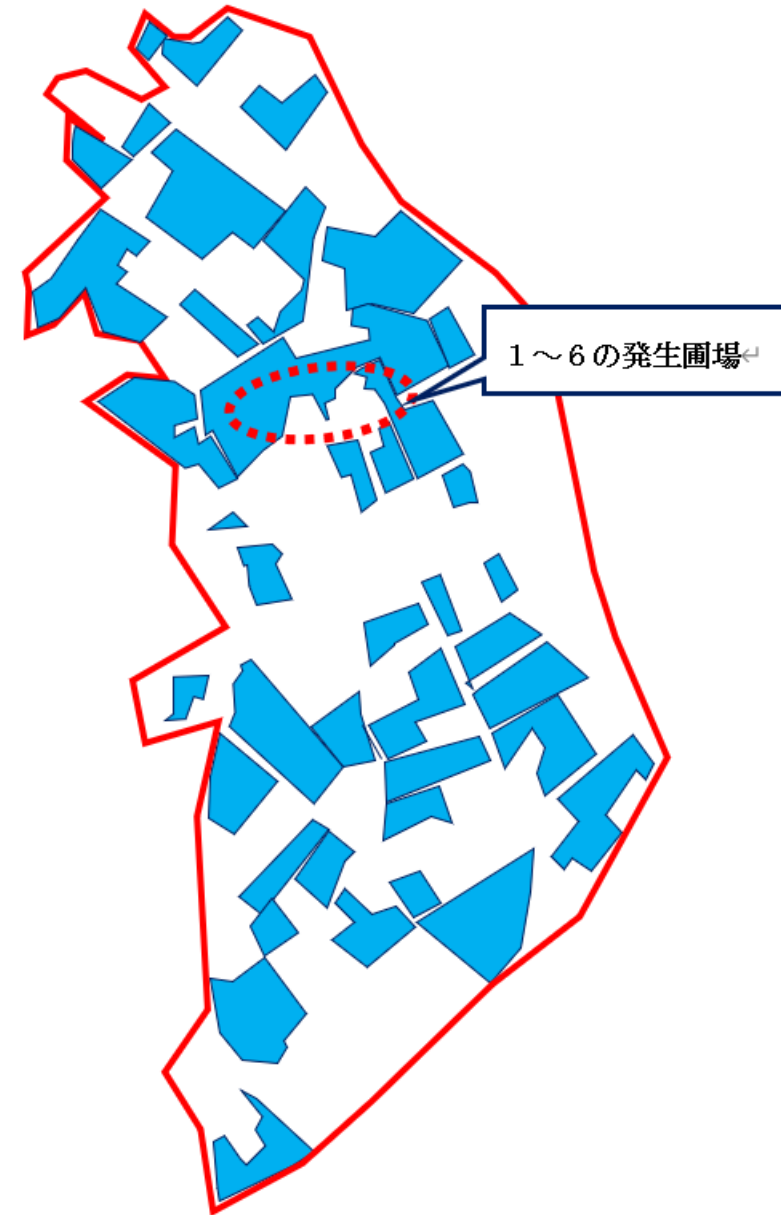
サツマイモ基腐病に係る緊急事態宣言



発生の経緯

・ひたちなか市の生産者 1 名が収穫し貯蔵中のかんしょからさつまいも基腐病疑いのかんしょを発見。11月5日に県が遺伝子診断を実施し、陽性と判明。本日、新たに2件のサツマイモ基腐病が確認され、計6件となった。

・県では、2事例目発生以降、サツマイモ基腐病のまん延防止に万全を期すために、発生ほ場における株の抜き取り・消毒といった通常の対応でなく、発生ほ場から周囲 500 m以内における、かんしょ以外の品目も含めた周辺ほ場の土壌消毒を実施してきているところ。



県からのお願い

・基腐病は、周囲の株や隣接する畑まで次々と発生が拡大し、その結果、収穫量の大幅な減少など深刻な事態につながる、大変危険な病害のため、このような症状を見つけたら通報してほしい。

・そのような中、県が実施する防疫措置に対して非協力的な生産者もいる状況であり、産地を守るため、県が実施する防疫措置について、最大限の協力をお願いしたい。

